

【エクアドル内政・外交：2012年9月】

1. 概要

- 9月 2日 内務大臣の弟殺害
- 19日 ペルー・エクアドル外相会合
- 20日 カルバハル国防大臣のハイチを訪問
- 25日 ヤスニ ITT イニシアティブにイタリア支援
- 28日 陳徳銘(Chen Deming) 中国商務部部長の当国訪問

2. 内政

(1)内務大臣の弟殺害

2日午前2時頃、アスアイ県クエンカ市中心街のラルガ通りとサンタ・テレシータ通りとの交差点付近で、ホセ・セラノ内務警察大臣の弟、ファン・アントニオ・セラノ・サルガド(34歳)が殺害された。アスアイ県警察本部長レニン・ボラーニョスによれば、検問等を実施したところ、不審な2台の車を発見した。1台はPSR-738のナンバーを付けたフォルクスワーゲン・ゴルの白色、もう一台はPVD-984を付けたシボレー・コルサであった。車内には合計6名がおり、事件への何らかの関与を疑っている。

(2)ジャネス・イノストウロサ記者に対する脅迫

14日、国家接收された COFIEC 銀行によるアルゼンチン人ドゥサク氏に対する不透明融資を報道したテレアマソナス社のジャネス・イノストウロサ記者が何者かに電話による脅迫を受け、番組を降板した。ジャネス・イノストウロサ記者は、12～13日の二日間に亘り、自身の番組内で、国家接收された COFIEC 銀行によるアルゼンチン人ドゥサク氏に対する不透明融資を取り扱い、右スキャンダルには、コリア大統領の従兄弟であるペドロ・デルガド中央銀行理事会会長が関与している旨報じた。14日に第三弾として右スキャンダルの関連情報を報じる予定であったが、直前に何者かによる電話での脅迫を受けたため、予定していた番組は報じなかった。

19日、ジャネス・イノストウロサ記者は自身の番組に生出演し、脅迫を受けた事実を明らかにした上で「私一人の立場だったら、この国の状況を告発するため記者が死ぬことや正当でない形で逮捕されることもおそらく必要であろう。しかし、一人ではないので、しばらくの間番組を降板することを決意した。ただし、記者は絶対辞めない」と述べた。

3. 外交

(1)ウィキリークス代表ジュリアン・アサンジの亡命

26日、パティエーニョ外相は第67回国連総会に出席するため米国を訪問、「政治亡命：人権の国際制度の強化」フォーラムを開催し、「英国がアサンジに対し安全通行許可を付与することは、人権の擁護と政治亡命に関する国際法をヨーロッパの国が尊重するという意味で重要である」と強調し、ハーグ英外相とは、デリケートな本問題の解決を図ることができるよう、期待を持ちながら前向きに対話を継続したいと述べた。

(2)ヤスニITTプロジェクト・イタリア政府による支援

25日、ニューヨークに於いて、エクアドルとイタリアはヤスニ ITT イニシアティブに総額3,500万ユーロをイタリアが支援する協定を締結した。右協定に基づき、イタリアによる拠出金は国連開発計画(UNDP)が管理する信託基金に充当され、エクアドルでの社会環境プロジェクトに

充てられる。右協定は第 67 回国連総会に於いて、マリア・フェルナンダ・エスピノサ(Maria Fernanda Espinosa)遺産調整大臣(兼ヤスニ ITT 信託基金理事)、スタファン・デ・ミストウラ(Staffan de Mistura)伊副大臣、ビスラト・アクリル(Bisrat Akililu)ヤスニ ITT 信託基金理事が署名した。

(3) 対中関係:

28 日、陳徳銘(Chen Deming)中国商務部部長は Guo Mingshe 中国開発銀行頭取及び石油、鉱山、代替エネルギー、インフラ、科学技術、農業、その他経済戦略部門の 25 人の投資家により構成される代表団を帯同してエクアドルを公式訪問、コリア大統領及びパティーニョ外相と会談し、経済協力、貿易、安全保障に係る7つの二国間協定に署名した。同会合にはリカルド・パティーニョ外相、ホルヘ・グラス戦略部門調整大臣、サンティアゴ・レオン生産雇用競争力調整大臣、オメロ・アレジャーノ治安調整大臣、フランシスコ・リバデネイラ外務副大臣、レオナルド・アリサガ在中國エクアドル大使他が参加した。

(4) 対ペルー関係

19 日、ロンカグリオロ・ペルー外相はエクアドルを訪問し、パティーニョ外相とともに第 6 回エクアドル・ペルー隣国委員会を開催し、両国の国境における協力の推進について協議した。

パティーニョ外相は、両国の国境地域において、より良い交通インフラ、通信、貿易や観光サービスを整備する必要があるとあり、また両国政府は、国境地域の住民の生活を改善する意思を有している旨述べた。右目的のため、両国が国境地域に関する情報を緊密に共有し、政府機関の協力を促進していく旨述べた。

ロンカグリオロ・ペルー外相は、国境地帯の住民を排することなく国境地域の開発を推進していくため、平和と相互信頼に基づいた緊密な二国間関係の中で国境問題が両国関係の障害となることのないよう政府が将来を見据えて協力関係を強化していくことが重要である旨述べた。

(5) 対ハイチ関係

20 日、カルバハル(Miguel Carvajal)国防大臣はハイチを訪問。ミシェル・マルテリー(Michel Martelly)ハイチ大統領と会談し、ハイチ復興に向けた経済協力協定に署名した。右協定に於いて、支援任務にあたる軍事部隊 Marech III による支援強化が約束された。約 90 名のエクアドル兵が重機操作、治安支援、ロジ支援などの任務にあたる。今般任務は 2013 年 3 月 10 日までの予定である。